

2018年度③

# 民 法

(全 3 ページ)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙・下書き用紙は、この冊子の中に折り込んであります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 解答は指定された範囲に記載すること。「書き終わり」をこえて記載した場合は、採点をしないことがあります。
5. 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は持ち帰りなさい。

## 民法③

I 下記についてそれぞれ 80 字以内で説明しなさい。(各 10 点)

- (1) 債権者平等の原則
- (2) 包括承継

II 次の問題〔1〕〔2〕のうち、1 問を選択して解答しなさい。(100 点)

〔1〕 次の事例につき、下記の問いに答えなさい。(100 点)

1. 2017 年 12 月 17 日、製造機メーカー X 株式会社は、個人企業主 A に対して、期間 3 か月、賃料月額 50 万円前月末日払という約定で製造機械甲を賃貸して引渡し、1 か月分の賃料 50 万円を A から受領した。同日、X は、さらに、甲を用いて A が自分の工場で製品を製作するための原材料乙 30 箱を代金 300 万円で売却して A に引き渡したが、代金の支払期日は 1 月末日とされ、30 箱には「X 株式会社所有」というステッカーが貼られた。同日、A は、甲と乙の引渡しを受けた。
2. 同月 22 日、A は、工場を閉鎖するので不要になった自己の所有物であると称して、同業の工場主をしている Y に甲を 500 万円で売却し、代金と引換えに Y に引き渡した。Y は A が嘘をついていることに気付かなかった。
3. 同日、乙に貼られた「X 株式会社所有」のステッカーがきれいに剥がれそうになかったことから、A は、乙を売却する代理権を X から授与されている旨の委任状を偽造し、同種商品を扱っている Z に乙を 200 万円で買い取ってくれと求めた。Z はステッカーや A の提示した委任状を見たのち、念のために書類に記載されていた X の営業所に電話をかけて X の意思を確かめた。電話番号は実は A の知人の自宅の番号であり、電話に出た A の知人は、A に頼まれたとおり、X の従業員を装って A の言うとおりで Z に回答した。
4. そこで A の言を信じた Z は、乙の売買契約を結んで、代金支払と引換えに A から乙の引渡しを受けた。Z は、乙に貼られていた「X 株式会社所有」のステッカーをきれいに剥ぎ取って、翌日、事情を全く知らない B に乙を 230 万円で転売して、代金の支払と引換えに B に引き渡した。

5. 2018年1月4日、Aの犯行が発覚し、警察の捜査によって甲・乙の売却の経過が明らかとなった。甲はYの工場にある。一方、乙は、Bによって使用され、製品としてできた物もすでに他に転売されていたうえ、Bは所在が不明である。
6. 現在時点は同年2月4日であり、甲は、警察には押収されていない。

(問い1) (50点)

- (1) Xは、Yから甲を取り戻すことができるか。
- (2) 仮にYが甲をXに返還しなければならない場合には、Yは、Aにどのような根拠で何を請求できるか。

(問い2) (50点)

- (1) Xは、Zに対して、どのような請求をすることができるか。
- (2) 仮にZがXに対して何らかの責任を負う場合には、Zは、Aにどのような根拠で何を請求できるか。

[2] 次の事実をふまえて下記の問いに答えなさい。(100点)

1. 夫と死別して一人で息子を育てているA(40歳・出版社勤務の正社員)の息子で小学校5年生(11歳)のBは、夕方5時半頃、塾に行くために、自転車を運転していた。
2. Bは車が一台通れるくらいの一方通行の坂道のくだり坂の左端を勢い良く走り降りていたところ、前方を歩いているC(32歳の女性弁護士)が見えたので、呼び鈴を何回か鳴らして警告をしたが、スピードは落とさなかった。
3. すると、Cが突然、道路の左端に寄ったので、Bは慌ててブレーキをかけたが、間に合わず、Cの左足に自転車が激突し、Cは転倒し、打ち所が悪く、頭蓋骨骨折で死亡してしまった。
4. Cはイヤホンでスマホの音楽を聴いていて、Bの自転車の呼び鈴に気づかず、突然、道路の左端に寄ったのは、左側にこれから訪ねる依頼者の家があったためであった。
5. Cには父Dと母Eがいる。
6. 死亡当時、Cは弁護士になって6年目で年収が800万円で、生活費を控除しても

少なくとも1億円の逸失利益がある。

7. AはBが日ごろから猛スピードで自転車に乗っているのに気づいていて、自転車のスピードの出し過ぎをしないよう1回注意したことはあるが、それ以上特に何もしていなかった。

(問い) 一人娘の突然の事故死に悲嘆にくれているDとEは、誰にどのような損害賠償を請求できるかを、相手方から予想される主張もふまえながら論じなさい。